

写

30川総庶第935号  
平成31年1月17日

教 育 長 様

川 崎 市 長

平成31年市議会定例会提出議案に係る教育委員会の意見聴取について  
(依頼)

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第29条の規定に基づき、平成31年に開催される市議会定例会及び臨時会に提出を予定する各議案について、教育に関する事務の部分における貴委員会の意見を求めます。

(参考)

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）（抄）  
(教育委員会の意見聴取)

第29条 地方公共団体の長は、歳入歳出予算のうち教育に関する事務に係る部分その他特に教育に関する事務について定める議会の議決を経るべき事件の議案を作成する場合においては、教育委員会の意見をきかなければならない。

(総務企画局総務部庶務課担当)

電話200-2046

内線21311

平成 3 1 年第 1 回市議会定例会提出予定議案のうち、

教育に関する事務に係る案件

予算（1 件）

平成 3 1 年度川崎市一般会計予算

補正予算（1 件）

平成 3 0 年度川崎市一般会計補正予算

条例（1 件）

川崎市職員定数条例及び川崎市病院局企業職員定数条例の一部を改正する  
条例の制定について

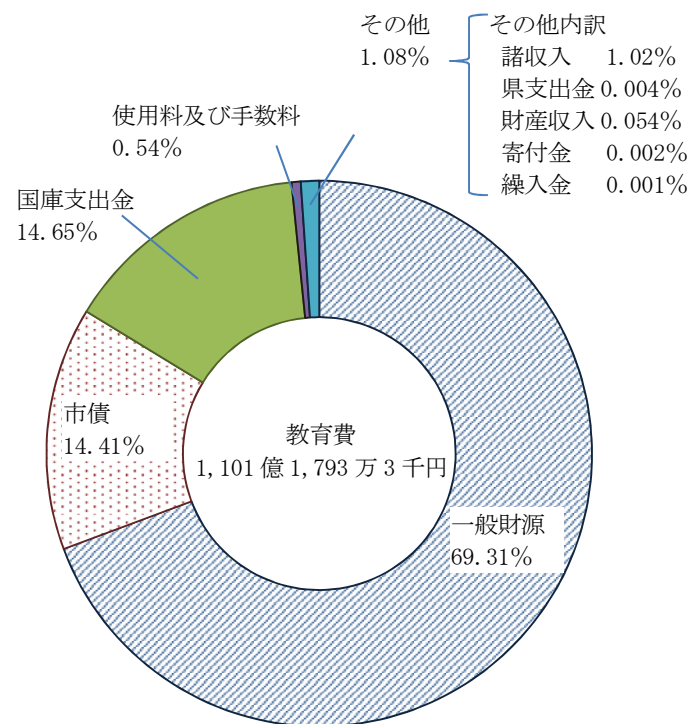
事件（1 件）

小杉小学校の取得

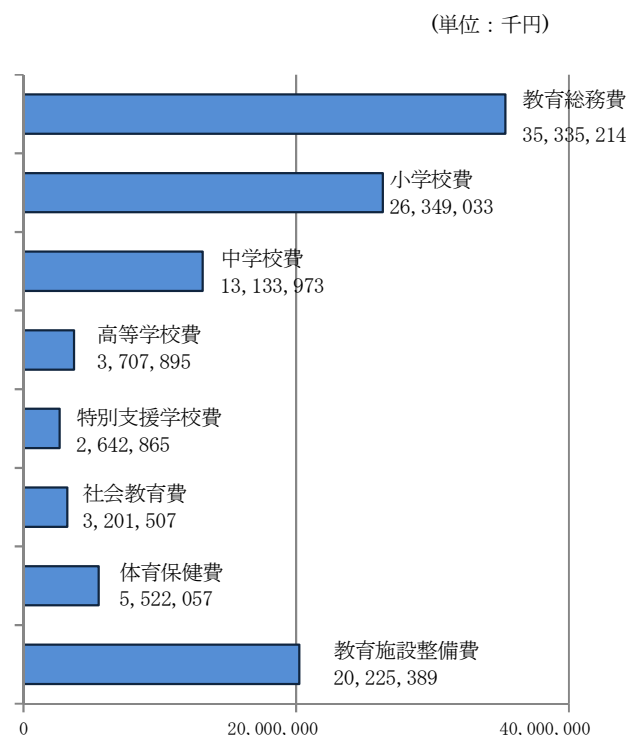
# 教育予算について

平成 31 年度教育費の当初予算は、1,101 億 1,793 万 3 千円となり、前年度と比較して、7 億 7,740 万 1 千円の減となっている。これは、主に教育施設整備費の減によるものである。

## 1 教育費財源内訳

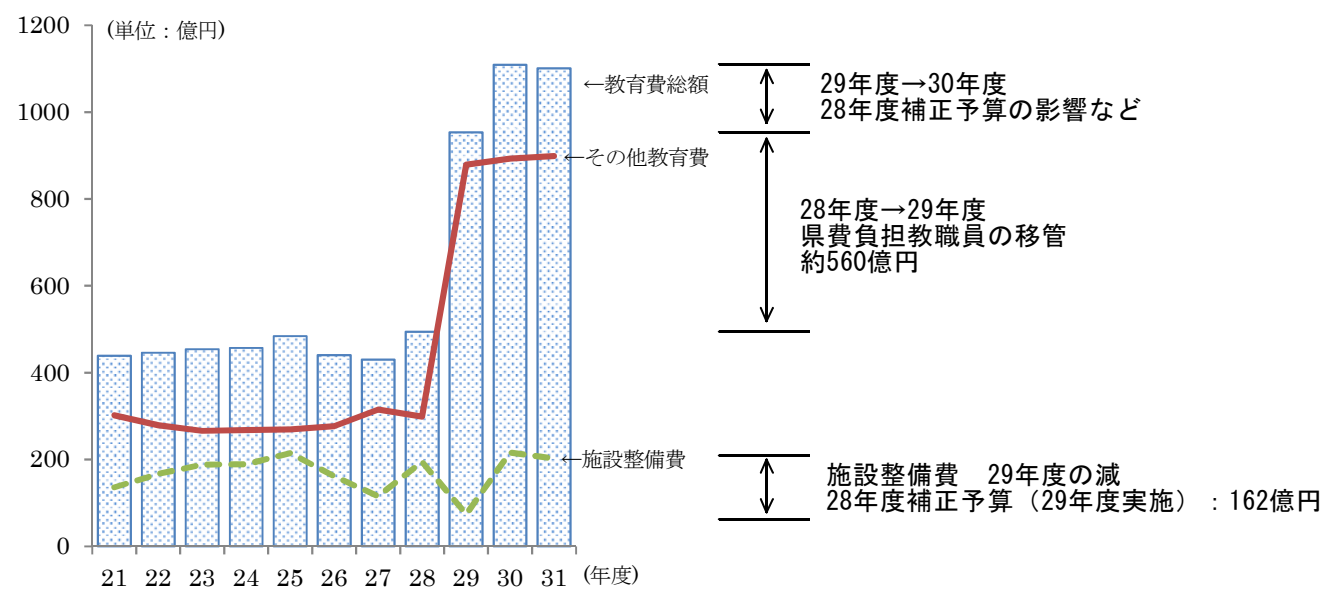


## 3 費目別歳出予算額



\*教育費財源内訳の数値は、小数点第3位(その他内訳は第4位)を四捨五入しているため、各数値の計と合計が一致しない場合がある。

## 2 教育費の年度別推移



## 平成 31 年度教育委員会予算(案) 主要施策

教育費 31 年度当初予算(案) 1,101 億 1,793 万 3 千円

教育プラン 基本政策	施策名	H31 予算 (千円)	H30 予算 (千円)
人間としての 在り方生き方の軸を つくる	1 キャリア在り方生き方教育の推進	3,559	( 4,581 )
	2 確かな学力の育成	920,882	( 867,731 )
	3 豊かな心の育成	74,447	( 69,862 )
	4 健やかな心身の育成	5,532,475	( 5,446,826 )
	5 教育の情報化の推進	1,875,663	( 1,662,286 )
	6 魅力ある高等学校教育の推進	15,846	( 15,785 )
学ぶ意欲を育て、 「生きる力」を伸ばす	7 共生社会の形成に向けた支援教育の推進	2,228,081	( 2,239,319 )
	8 安全教育の推進	102,109	( 99,730 )
	9 安全安心で快適な教育環境の整備	19,269,583	( 13,689,796 )
	10 児童生徒増加への対応	2,484,712	( 9,330,595 )
一人ひとりの教育的 ニーズに対応する	11 学校運営体制の再構築	4,410,767	( 4,111,146 )
	12 学校運営の自主性、自律性の向上	162,301	( 164,267 )
	13 教職員の資質向上	857,086	( 843,022 )
良好な教育環境を 整備する	14 家庭教育支援の充実	2,681	( 2,787 )
	15 地域における教育活動の推進	107,592	( 90,345 )
学校の教育力を 強化する	16 自ら学び、活動するための支援の充実	792,393	( 859,566 )
	17 生涯学習環境の整備	366,394	( 237,586 )
家庭・地域の 教育力を高める	18 文化財の保護・活用の推進	594,361	( 240,535 )
	19 博物館の魅力向上	395,753	( 449,937 )
	18 文化財の保護・活用の推進	594,361	( 240,535 )
いきいきと学び、 活動するための 環境をつくる	19 博物館の魅力向上	395,753	( 449,937 )
文化財の保護・活用と 魅力ある博物館づくり を進める			

## 教育委員会事務局

＜予算額＞ 問合せ先：庶務課 200-3260 内) 50101

110,117,933千円 (対前年度比：△0.7%)

### ＜主な事業＞

#### 「生きる力」を伸ばし、人間としての在り方生き方の軸をつくる教育の推進

- キャリア在り方生き方教育の推進 3,559千円  
○全校で実施している「キャリア在り方生き方教育」について、小学校から高等学校までの計画的・系統的な実施に向けた取組を推進します。
- 確かな学力と豊かな心の育成に向けた取組 682,434千円  
○一人ひとりの「生きる力」を伸ばしていくため、学ぶ意欲・態度を育むことを大切にしながら、「確かな学力」「豊かな心」を育てる取組を推進します。  
・新学習指導要領を踏まえ、小学校の英語教科化等に対応した指導体制を整備  
A I T (外国語指導助手) を91人から101人へ増員(拡充)  
・児童が読書や学習にいつでも学校図書館を活用できるよう、学校司書を配置している小学校を28校から35校に拡大(拡充)

- 健康給食の推進 4,847,001千円  
○野菜を豊富に取り入れ、食材や味付けにこだわった献立の提供や、(株)タニタとの包括協定に基づく中学校でのタニタ監修献立の提供等、川崎らしい特色ある「健康給食」の取組を推進します。  
○学校給食を活用した小中9年間にわたる体系的・計画的な食育を推進し、「食」に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけ生涯健康な生活を送るための基礎を育みます。

#### 一人ひとりの教育的ニーズへの対応

- 特別支援教育の充実 480,988千円  
○小・中学校等において医療的ケアを必要とする児童生徒を対象に、一人ひとりの医療的ケアのニーズに応じて看護師が学校を訪問する等、特別支援教育の充実を図ります。

#### 安全で快適な教育環境の整備

- 学校安全対策の推進と教育環境の整備 4,494,049千円  
○地域社会全体で学校の安全確保に取り組み、防犯力の向上や防災教育の充実により、総合的な安全対策を推進します。また、教育環境の向上をめざし、トイレの快適化やバリアフリー化等を進めるとともに、ブロック塀の安全対策など学校施設の防災機能の強化を図ります。  
・学校トイレの改修(30校)(拡充)  
(34年度までに全市立学校のトイレを快適化)  
・エレベータの整備(5校)  
・ブロック塀の安全対策(6校)や窓ガラス飛散防止フィルム貼付(6校)等の各種防災機能の強化



快適化済みトイレ

- 学校施設長期保全計画の推進 10,990,782千円  
○「学校施設長期保全計画」に基づき、改修による再生整備を実施し、より多くの学校の教育環境の改善と長寿命化による財政支出の削減を図ります。  
・実施校数 校舎24校、体育館11校
- 児童生徒の増加に対応した教育環境の整備 2,484,712千円  
○良好な教育環境を確保するため、校舎の増築等を実施し、児童生徒の増加に対応します。  
・木月小学校の校舎増築設計の実施(新規)  
・新川崎地区における小学校新設に向けた取組

#### 学校の教育力の向上等

- ふるさと応援寄附金の活用 1,000千円  
○学校を指定して寄附することができる「学校ふるさと応援寄附金」を新設します。(新規)
- 地域等による学校運営への参加促進 3,703千円  
○学校・家庭・地域社会が一体となって学校運営に取り組む学校運営協議会を設置する学校(コミュニティスクール)を10校から15校に拡大します。(拡充)
- 学校運営体制の再構築等 4,413,147千円  
○学校への法的なアドバイスを専門に担当する職員を配置します。(新規)  
○学校業務の効率化を図るため、教職員事務支援員を配置し、教職員の負担を軽減します。(拡充)  
○教職員の負担軽減や部活動の安定的な運営のため、部活動指導員を配置します。(拡充)  
○教職員の勤務時間外の電話対応業務を軽減するため、留守番電話を整備します(118校)。(新規)

#### 家庭・地域の教育力の向上

- 地域の寺子屋事業の推進 79,393千円  
○地域ぐるみで子ども達の学習や体験活動をサポートする「地域の寺子屋」を随時開講します(47か所→98か所)。また、担い手である寺子屋先生の養成を図ります。(拡充)

#### 自ら学び、活動するための支援

- 生涯学習環境の整備 224,233千円  
○地域の活動拠点として学校施設の更なる有効活用を推進する取組を進め、市民の生涯学習環境の整備を図ります。(拡充)  
○既存施設(労働会館)を活用した「(仮称)川崎市民館・労働会館」の整備に向けて、市民意見等に基づき取りまとめた基本構想を踏まえ、基本計画を策定します。  
○鷺沼駅前地区再開発事業に伴う市民館・図書館の移転に向けて、市民意見等を取り入れながら、基本計画を策定します。(新規)

#### 市民の文化芸術活動の振興

- 文化財の保護・活用と魅力ある博物館づくりの推進 990,114千円  
○重要な歴史的・文化的資産である国史跡橋樹官衙遺跡群の保存活用計画に基づき、史跡指定地の公有地化及び活用を推進します。  
○国史跡橋樹官衙遺跡群の整備基本計画に基づき設計に着手します。(新規)  
○歴史や文化への理解を深めるため、各博物館施設の魅力向上につながる事業を展開します。



橋樹官衙遺跡群の発掘調査

## 平成 30 年度川崎市一般会計補正予算（案）について

教育費補正額 2,736,573 千円

## ■補正の内容

## 1 歳入歳出予算

## ◆義務教育施設整備費 2,736,573 千円

国庫補助の認承増を受け、前倒して執行を行うもの

学校施設長期保全計画推進事業 校舎再生整備

( 3 小学校、 1 中学校)

国の補正予算による国庫補助の認承増を受け、前倒して執行を行うもの

一般営繕

空調設備改修

( 1 小学校、 1 中学校)

学校防災機能整備事業

万年塀撤去・フェンス新設

( 12 小学校、 12 中学校)

学校施設長期保全計画推進事業 空調設備改修

( 5 小学校、 5 中学校)

アスベスト含有仕上げ塗材に対応するため、工事費を増額するもの

アスベスト含有仕上げ塗材対策 外壁工事 ( 2 小学校、 3 中学校)

校舎 ( 1 小学校)

体育館 ( 3 小学校、 2 中学校)

財源内訳：

国庫補助金 486,949 千円

市 債 1,911,000 千円

一般財源 338,624 千円

## 2 繰越明許費

### ◆社会教育費 123,995 千円

橘樹官衙遺跡群用地購入の調整に時間を要したため

### ◆教育施設整備費 4,749,936 千円

一般営繕及び学校防災機能整備事業

国の補正予算による国庫補助の認承増を受け、前倒して執行を行うもの

学校施設長期保全計画推進事業

国庫補助の認承増を受け、前倒して執行を行うもの

国の補正予算による国庫補助の認承増を受け、前倒して執行を行うもの

アスベスト含有仕上げ塗材に対応するため、工法を変更するもの

バリアフリー化推進事業

アスベスト含有仕上げ塗材に対応するため、工法を変更するもの

## 川崎市職員定数条例及び川崎市病院局企業職員定数条例の一部を改正する条例の制定について

職員配置の見直しに伴い、職員定数の調整を行うため改正するもの

### 1 改正内容（教育に関する事務に係る部分）

職員定数の改正

（単位：人）

部 局		現行定数	増減員	改正定数
教育委員会の所 管に属する職員	事務部局及び教育機関 （学校を除く。）の職員	390	5	395
	学校の職員	7,051	39	7,090

### 2 施行期日

平成31年4月1日から施行

## 小杉小学校の建物の取得について

小杉小学校の建物11,292.25㎡を一般財団法人川崎市まちづくり公社から4,964,877,861円で買い入れるもの

- |         |                                                                                         |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 所在地   | 川崎市中原区小杉町2丁目295番地1                                                                      |
| 2 構造・規模 | 校舎・体育館棟 鉄骨造一部鉄筋コンクリート造 地上5階建<br>屋外体育倉庫 木造 平屋建<br>駐輪場 鉄骨造 平屋建<br>ボンベ庫 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 平屋建 |